

成果の説明書

(氏名) 阿久津 由佳	(学部) 経済学部
1 重要事項 (1) カリキュラム改革の実施 2017 年度に最も力を注いだのは、英語カリキュラム改革の実施である。他の英語部会のメンバーと協力し 2 年間の準備を経て、実施に至ったが、1 年目ということで多くの調整が必要となり、その対応に一番労力を割いた。 具体的には以下の通り。 ①共通テストに関する調整、準備、実施 必修英語科目で年に 2 度実施する両学部 1 年生全員（約 1000 名）が受験する共通テスト 2 種類のうち一つに関して問題が生じたため、英語部会メンバーで協力してその調整を行い、別の形でテスト実施を決定しその準備をした。もう一方のテストについては、予定通りの形で前期と後期にそれぞれ一度ずつ準備を行い実施した。 ②共通テストについて非常勤講師にむけての説明会を開催 具体的な内容や実施方法についての説明会を実施し、そのための準備も行った。 ③新カリキュラムレベルコーディネーター業務の遂行 新カリキュラムに関して、非常勤講師の先生方に個別に内容等の説明を行ったり質問に対応するなどレベルコーディネーターとして対応した。 (2) 教育 現行の授業の改善に向けての取り組みも引き続き行っている。2017 年度も、前年度までのデータ（社会で必要とされている英語力に関するデータ、TOEIC 問題の傾向の分析、学生が能動的に学習できる英語授業の形態についての実験的取り組み等）を活かし、学生からのニーズの高いビジネス英語および TOEIC に頻出する語彙・表現を、リスニングの形で本格的に授業に取り入れ、学習形態についても、学生の能動的な受講を促す工夫を続けた。授業評価及び個別のアンケートにおいても特に「ビジネス英語が有益」とのコメントが多く、成果が出ていると考えている。 また、授業外での積極的学習を促すため、授業時間外に希望者を対象に個別の英語学習相談を実施し、各自のレベルや適性、目標に合わせた学習計画作成のアドバイス等を行うことも継続している。 (3) 研究 前年度に引き続き英語の語用論的要素をどのように学校英語教育に取り入れるかについての研究を進めている。2017 年度は、前年度に参加した LEBCSR-17 で発表した論文を発展させるため、アンケート調査や分析を行い、データの収集をした。	
2 その他の事項 - 英語部会メンバーとして、カリキュラム改革をはじめとする英語化関連の課題解決のための英語部会に参加した。 - 教務委員会オブザーバーとして、英語関連の教務委員会検討に参加した。履修相談コーナーについて担当教員として参加した。	

3 次年度以降の計画・抱負

2018 年度は、2 年生科目の新カリがスタートし、また同時に経済学部については新カリ移行が完成することとなるため、引き続きその実施や問題への対応が一番大きくなると考えられる。特に 2 年生科目 2 科目のうち 1 科目はコースリーダーとして両学部をまとめていくことになるので、有効なカリキュラム改革が実践されるように理科らを注いでいきたい。また、問題点があればそれに対応し、問題なく進められた内容についても評価をしながら進めていきたい。

また、個人の研究についても、昨年度の研究結果をより大きな規模で発展させた形で論文を作成し発表したいと考えている。昨年アンケート調査に改良すべき点が見つかったため、その修正を行いながら分析を進める予定である。